

作業療法 第40巻 第6号 (通巻225号) 目次

◆巻頭言

[求められる作業療法マインド](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・大野 宏明 711

◆総説

[脳損傷者における眼球運動障害改善のためのリハビリテーション](#)・・渡部 喬之・他 713

◆原著論文

[総合病院入院中にせん妄を併発した患者に対するリエゾンチームによる精神科作業療法](#)

—後方視的な症例対照研究による有効性の検証—・・・・・・・・・・梶島 敬行・他 721

[サルコペニアは自宅退院した脳卒中患者の手段的日常生活動作の実施状況を](#)

[低下させる](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・田中龍太郎・他 730

[作業療法によるロコモティブシンドローム予防の基盤づくり](#)

—ロコモティブシンドロームと作業遂行の関連に着目して—・・・・栗田 洋平・他 738

[脳深部刺激療法周術期パーキンソン病患者の非運動症状](#)

—5症例からの検証—・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤 淳矢・他 747

[非利き手における箸操作運動学習過程の脳活動の経時的変化](#)・・・・武田さより・他 756

[地域在住高齢者に対するタブレットを通じた生活スタイル向上プログラム](#)

[\(Lifestyle Improvement Program through Tablets\) の開発に関する予備的研究](#)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・川端 敦史・他 765

[若年成人の鍵ピンチ力, II~V指の指腹ピンチ力の信頼性と臨床的判断](#)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・黒崎 真樹 774

[作業療法のクリニカルリーズニング評価尺度の開発](#)

—内容妥当性の検討—・・・・・・・・・・・・・・・・・・丸山 祥・他 784

◆実践報告

[高次脳機能障害者のSelf-awareness に対する日本語版SRSI](#)

[\(Self-Regulation Skills Interview\) の実践活用](#)・・・・・・・・・・中島 裕也・他 793

[発達性協調運動症および注意欠如・多動症を有する年長児の短縄跳び動作に対する](#)

[課題指向型アプローチ実践の一例](#)・・・・・・・・・・・・・・・・・・倉 昂輝 804

[通所リハビリテーションにおいて復職支援に取り組んだ一事例](#)・・・・西 聡太・他 813

[医療観察法病棟におけるうつ病とパーソナリティ障害が併存する対象者への作業療法](#)

—価値を置く作業の導入とMDTによる一貫した関わり—・・・・・・南 庄一郎 820

[脳卒中後に生じた自己認識障害に起因した麻痺手の使用行動の低下に対する](#)

[Transfer package を用いた実践—症例報告—](#)・・・・・・・・・・森屋 崇史・他 827

[医療観察法病棟における治療意欲の乏しい統合失調症患者に対する作業療法の有用性](#)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・南 庄一郎 835

編集後記

▶本号は2021年の最終号となるが、本年もCovid-19に大きな影響を受けた1年でした。「人々との対話や交流の機会を奪うウイルス」の流行のなかで作業療法を途切れることなく対象者に届けるために、様々な工夫と努力を重ねた毎日だったように思います。また、この未曾有の危機においても、日々の臨床や研究を積み重ね、その成果を学術誌への投稿というかたちで世に送り出すべく努力を重ねてきた皆さんに心から敬意を払います。ポストコロナにおいては、「人々との対話や交流」にアプローチする作業療法の大切さや真価が問われるのではないのでしょうか。今後、そうした取り組みについて学術的検討がなされるのが、作業療法の価値の再認識に繋がるのではないかと考えています。(S・T)

▶先日高校生に作業療法を説明する機会がありました。高校生から「作業療法士に求められる素質は何ですか？」という質問があり、あらためて尋ねられると即答できませんでした。しかし、「素質というよりも、患者さんに寄り添って困っていることを一緒に考えて解決していこうという気持ち大切です」と答えておきました。この回答が適切であったかは不安ですが、その後、素質について私なりに考えてみて、「より良い支援方法は何か？」を問い続けていけるという能力も重要ではないかと思いました。その実践をまとめて形にしたものが学術誌「作業療法」であり、これから作業療法士を目指す若者が参考にできるような報告を積み上げていかなければと感じました。(H・M)